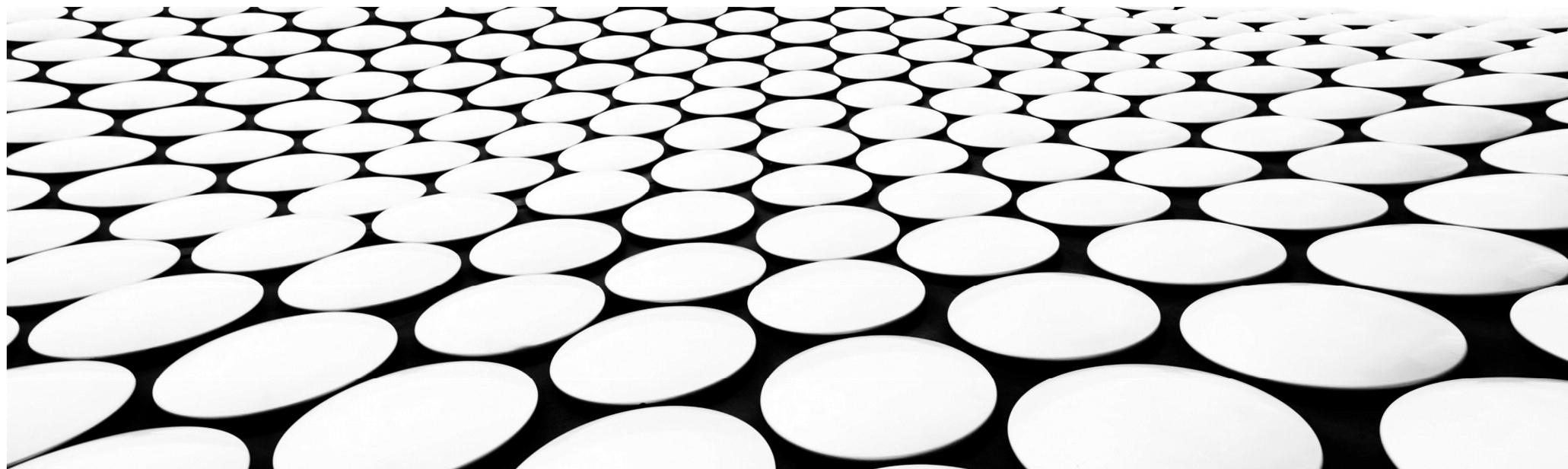


# SDG S 全国フォーラム 分科会 1「世界の潮流とSDG S 経営の新展開」

2021年01月31日

立教大学特任教授/不二製油グループ本社 CEO補佐

河口真理子



# 自己紹介

1997年～2020年 大和総研にてサステナビリティについて企業や投資家向けの調査研究、アドバイスを行う。

2020年4月より、立教大学21世紀社会デザイン研究科特任教授（サステナビリティ学）、不二製油グループ本社 CEO補佐（ESG・市場価値創造担当）

## 私の使命

- 人の暮らしを一ミリでも持続可能な方向に動かすこと。

## 戦略：サステナビリティ学

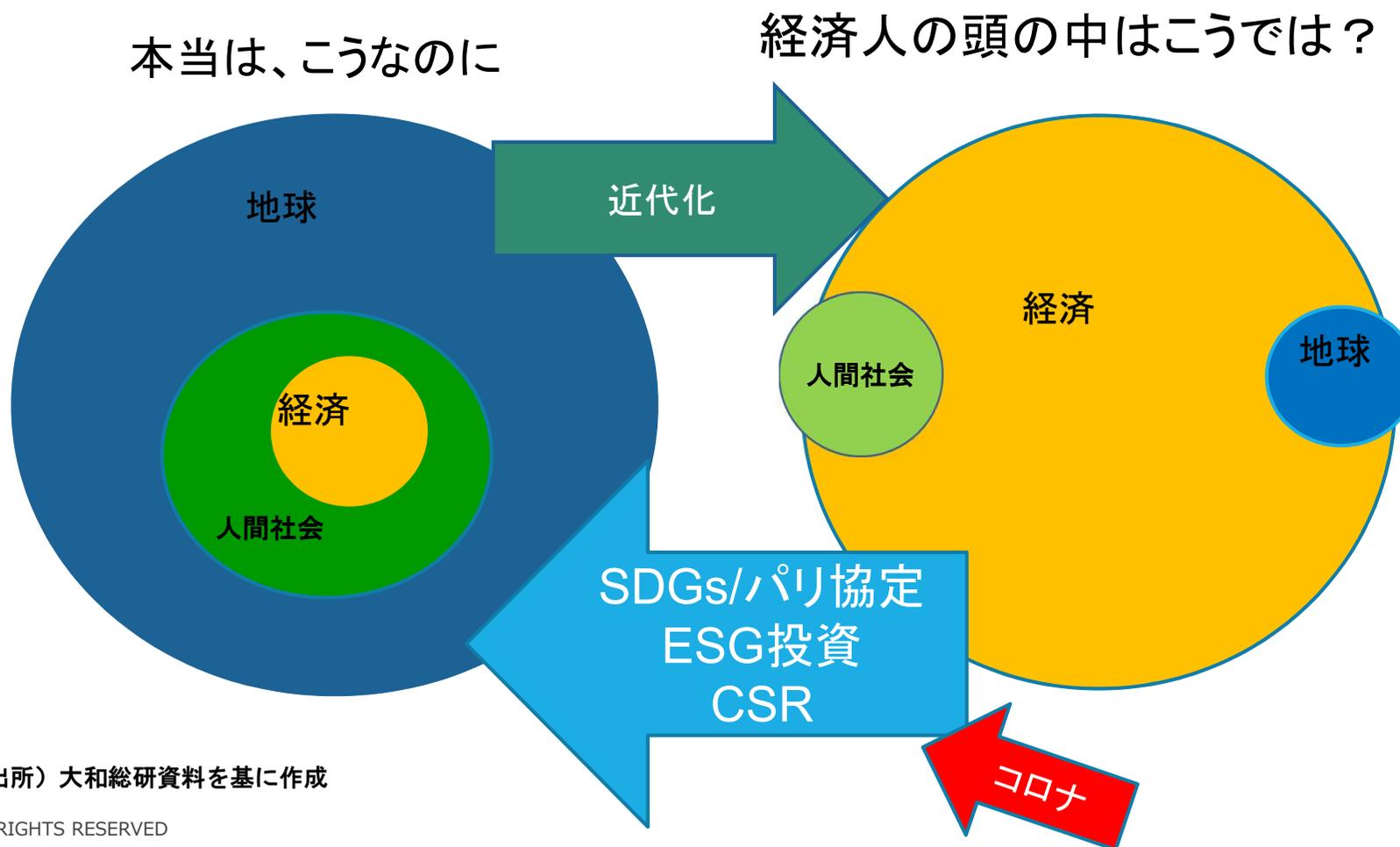
- ビジネス（CSR/CSV）、金融（ESG金融、サステナブルファイナンス）、消費（エシカル消費）の三位一体で取り組む。

## 研究調査歴

- 1986年 一橋大学 経済学研究科修士論文：外部不経済の内部化のための手段、環境税と排出権取引を日本で初めて紹介する。
- 1997年 大和総研 投資資料「環境経営の時代」：環境経営についての包括的論文。
- 2012年 大和総研 調査季報「ステークホルダーとしての『責任ある消費者』と持続可能な消費」

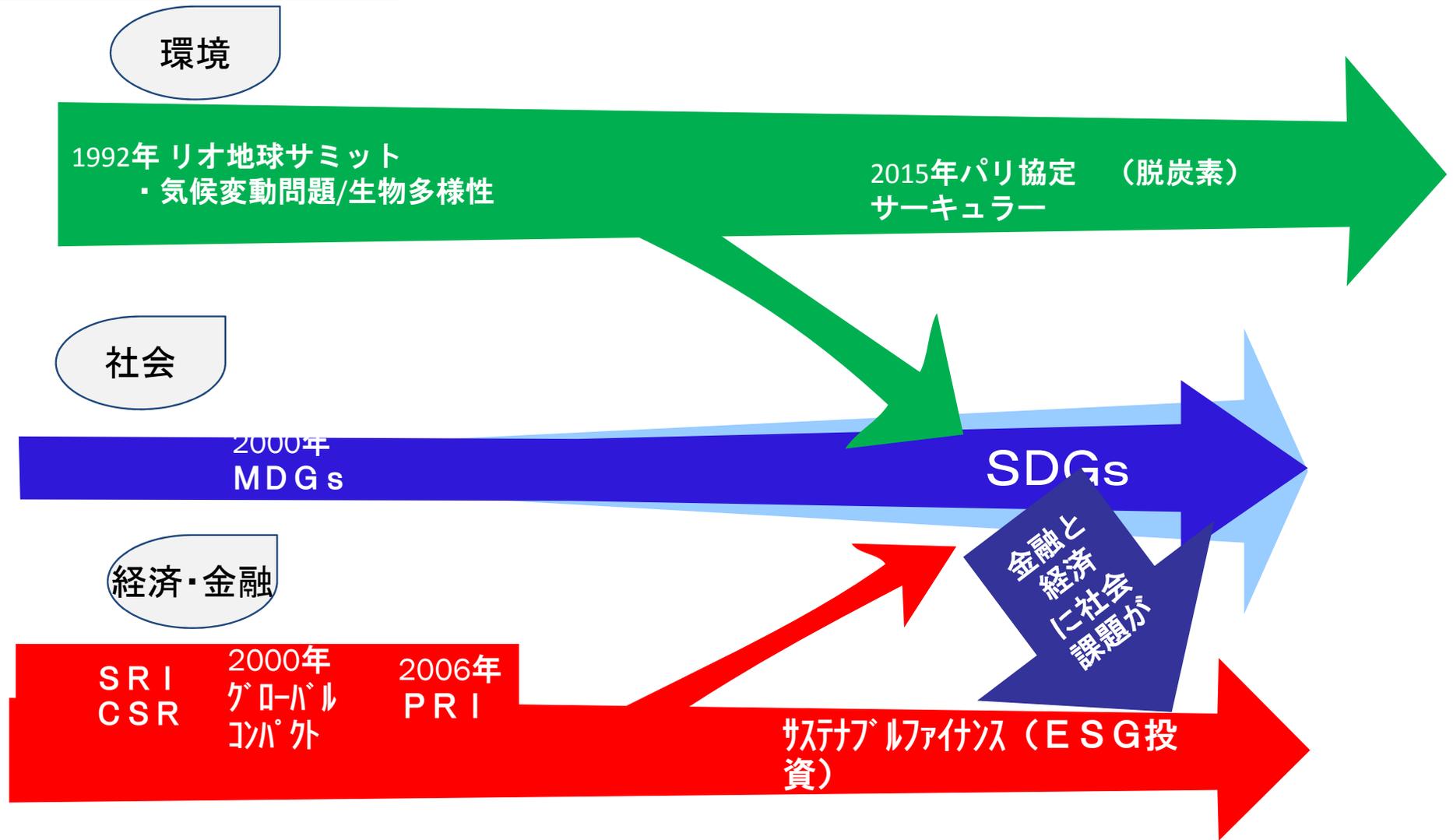


## サステナブルな人間社会へのパラダイムシフトが必要

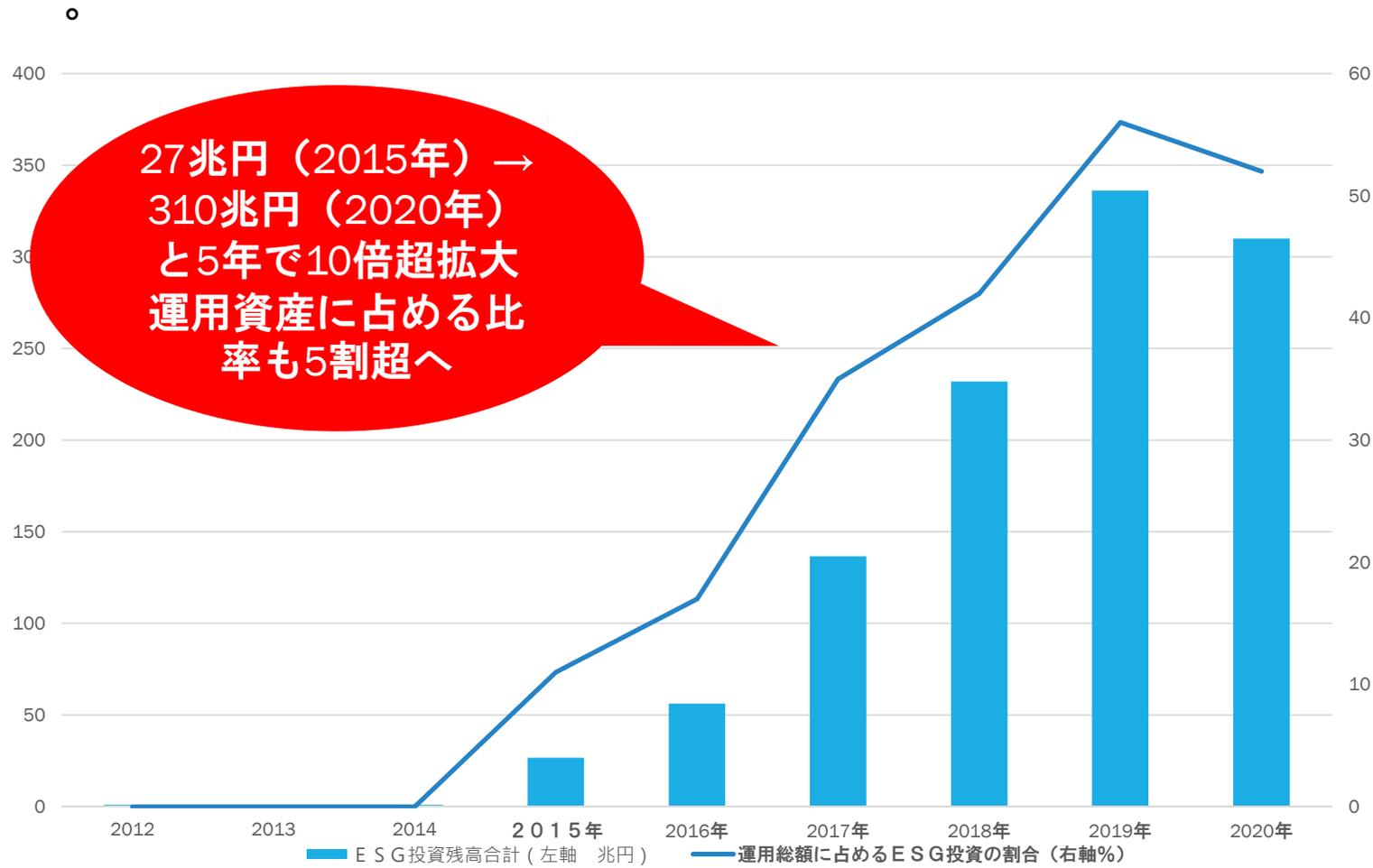


出所) 大和総研資料を基に作成

# 脱炭素とSDGsの関係性



# 日本のESG投資 市場推移



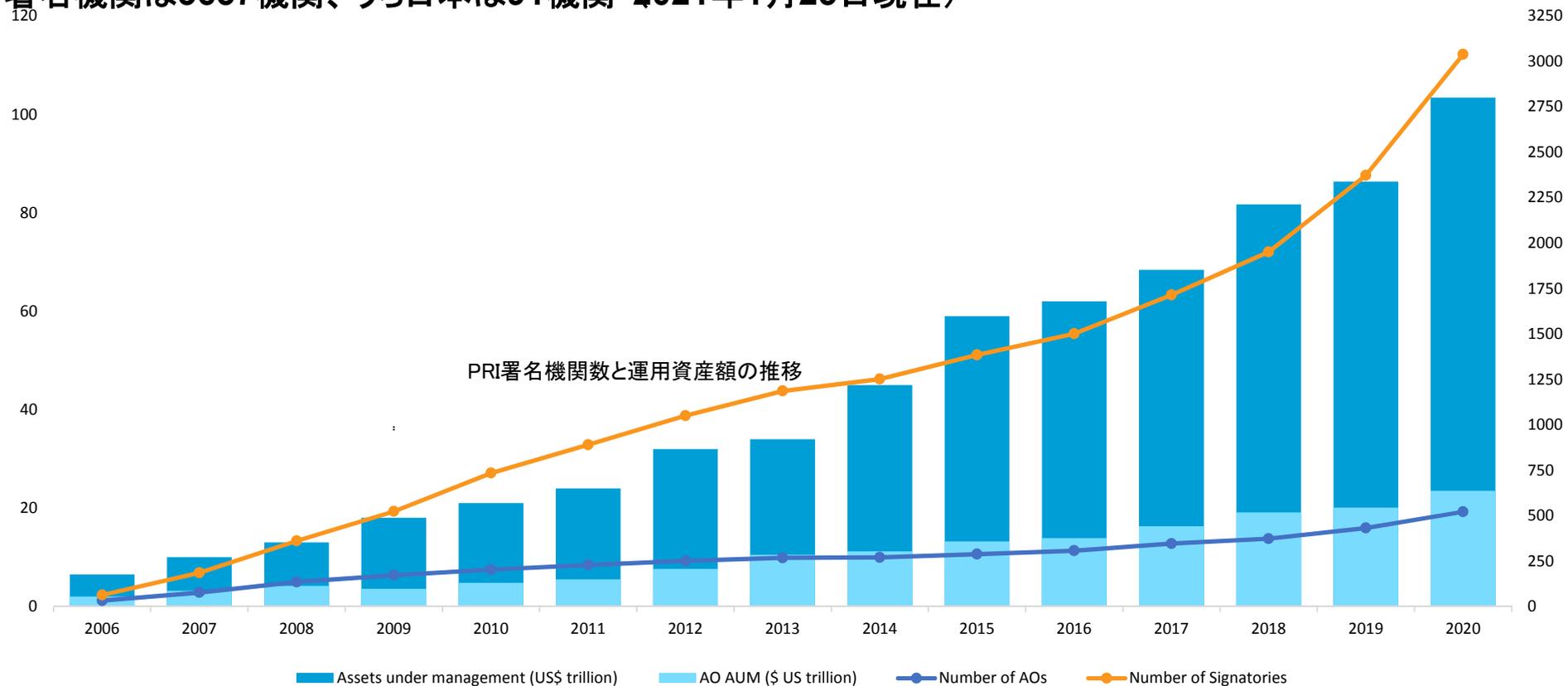
世界のESG投資  
市場残高は  
3300兆円  
(2018年)  
各市場における  
シェアは2-6割

出所) JSIF サステナブル投資残高調査 (左図)、右の数字は、GSIA レポートより

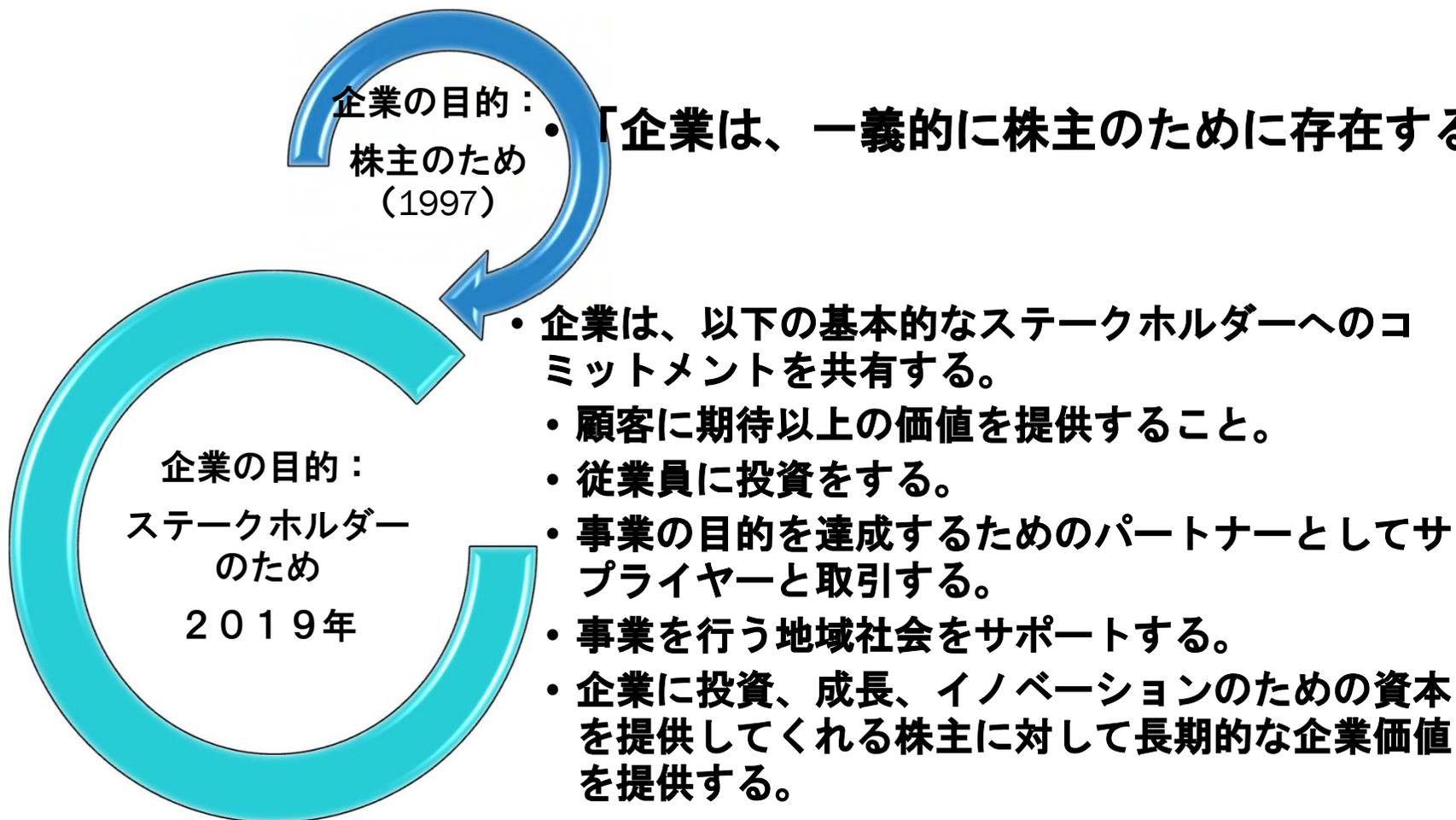
# PR I が加速する ESG 投資市場の成長

●世界のESG投資市場のプラットフォームとして、2006年にPRI(Principles for Responsible Investment,責任投資原則)が発足。

●署名機関は3657機関、うち日本は91機関 (2021年1月25日現在)



## 資本主義の再定義-1 米国：ビジネス・ラウンドテーブル（経営者団体）



出所) Business Roundtable “Statement on the Purpose of a Corporation” 2019.8.19 より要約

### 第4次産業革命における企業の普遍的目的

- A. 企業の目的は、すべてのステークホルダーが共有できる持続的な価値創造に関与することである。
- B. 企業は富を生む経済的な主体というだけではない。より広範な社会システムの一部として、人間と社会の希望を充足する。
- C. グローバルに活動する企業は、直接関与するすべてのステークホルダーに奉仕するだけでなく、政府や市民社会とともにグローバルな未来社会のステークホルダーとして自ら行動する。 (出所) World Economic Forum “The Davos Manifesto 2020”より

# ステークホルダー資本主義：企業にとっての価値≠株主利益

		ステークホルダー
売上		顧客・消費者
	原材料	取引先/環境/労働者
	部品材料	取引先/労働者
	設備・施設費	取引先/地域社会
	エネルギーコスト	環境
	物流コスト	環境
	人件費	従業員
	金利	金融機関
	その他	地域社会他
経常利益		
	租税	行政
純利益		
	配当	株主

自己利益  
株主利益



ステークホルダーへのリターン

# 大企業のSDGsの取り組み

SDGsが経営層に定着している企業

2015年 61%

2019年 77%

中間管理職に定着している企業

2015年 4%

2019年 33%

自社の戦略に組み込んでいる企業

2017年48%

2019年 68%へ

社内啓発を強化している企業

2017年 63%

2019年 69%

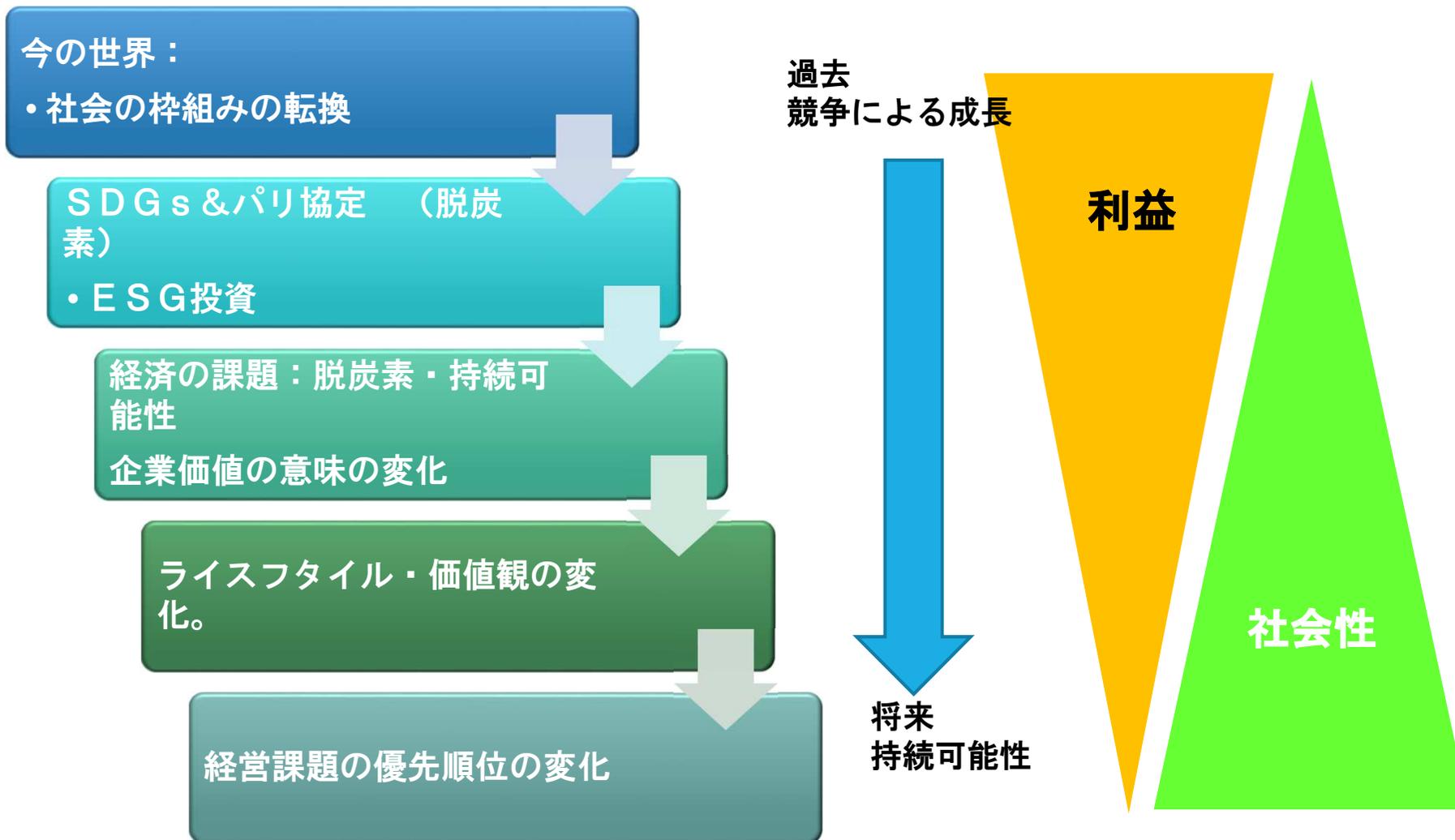
外部との連携パートナーシップを強化する企業

2017年 34%

2019年 49%

(出所) グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン (GCNJ) / 地球環境戦略研究機構 (IGES) 「ESG時代におけるSDGsとビジネス」2020. 3月発行を基に作成。  
GCNJ会員企業・団体向けアンケート結果 2019年調査は2019年9月1日～10月11日実施、335企業・団体対象186企業・団体回答(55.5%)

# まとめると



---

# FIN

SDGsという枠組みは人類にとっての壮大な実験です。後戻りはできないこの社会の動きをどうやって方向転換するか。誰一人取り残さない、はすべてが自主的に参加する権利と義務を持つ自主的に自らの頭で考えて参加し自らの手で変えていく。自分のためでなく、愛する人のため、社会のために。